

モニター氏名		市議会返答
提出日	平成31年1月15日	
<p>「質問:障がい者優先調達推進への取り組みについて」</p> <p>障害者施設からの物品調達率が、県内最下位であることが答弁され、平成29年度は、約24,000円の発注金額であることは確かに調達率が低いと感じました。前年度の調達額の実績を下回るの、やはり見直しが必要ではないかと思ひますし、作業所施設で対応や作業、製造等が困難なものもあるかと思ひますが、創意工夫や柔軟な調達方法の再検討が必要なのではないかと思ひました。このような答弁はとても重要で大切なことだと改めて認識いたしました。</p>		<p>・本会議を傍聴してのご意見ありがとうございます。物品調達率の向上には、創意工夫や調達方法の見直しが必要であることは、ご指摘のとおりだと思ひます。今後とも当局への働きかけを続けて参りたいと思ひております。</p>
<p>「質問:現在使用されていない教育施設の利活用について」</p> <p>施設を残すと言う観点、施設の再利用は用途が限定的である上、維持管理は難しい。と市は判断されたようですが、防火水槽の役割をはたしていることは地域の安全面、防災面の観点では重要な消防水利である。との議員さんからのご意見でしたが、担当課は、周辺に消防水利が確保されていることから、老朽化に伴う解体と言う回答でありました。私は、解体することを判断する前段階で、利活用や再利用の方法をまずは検討し、一般募集公募してみてもよかつたのではと思ひます</p>		<p>・本会議を傍聴してのご意見ありがとうございます。市民の目線から方向性を検討することは必要と思ひます。これらの意見を当局へ伝えます。</p>
<p>「質問:農業振興整備計画と都市計画について」</p> <p>・都市計画、農業振興は一体であり、26年トシマプランも踏まえて、規制、緩和、計画していく。また阿南市、産業誘導ができる緩和を図る進め方をしており、本市の方向性や方針はどのようなものか？という議員の質問に対して市の回答は、沿線道路、産業立地の課題に対応、55沿道へ企業誘致等を行う。と都市計画部局関係は回答しておりました。そう計画が進むのであれば、現在の農地の所有者や農業者にどのような手法で合意を図るのか？という更なる議員からの質問に対して、担当部局より、「有識者会議はもうけない」と言う回答であり、合意を図る手法として現段階の案としては、座談会、アンケート調査等より合意形成を図る回答がありましたが、私は、小松島市の発展には、農地の変更にともない、将来や産業を大きく左右する案件だと感じますし、答弁にあつたように、「合意を図る手法」として一番適切である手法を慎重に検討し、農業者及び農業関係者だけでなく、多様な視点を含めた専門家、学識者、有識者、一般市民などの「公式な場」を設けて視点や意見も踏まえて合意を図り進めて行くべき事案ではないかと思ひました。</p> <p>また、農業振興の観点、都市計画の観点、両方から考えると両方メリット、デメリットはもちろんあると思ひます。しかし、現状の小松島市は、ビジョン策定した後、アクションプランの実践内容等が明確化されていない気がします。小松島市として、例えば農業を重点的に持続し発展に注力する区域、交流人口や商業発展に注力すべき区域を積極的にすみ分けを行った上で用途の変更や、計画推進も案としてはあるのかなと思ひました。</p> <p>このような市全体を大きく左右するテーマにおける議会での議論や答弁は、大変重要ですし、市民も多く感心のあることだと感じました。このようなテーマが議論されていることに議会らしく素晴らしいテーマ議論だと思ひます。</p>		<p>・本会議を傍聴してのご意見ありがとうございます。都市計画、農業振興の当局よりの答弁に対し、農業関係者との合意形成、また、都市計画、農業振興の相反する観点をどのように調整し、将来的に計画を実施していくのか、的確なご指摘をいただきたいと思います。いただいたご意見は、今後の取り組みへの参考とさせていただきます。</p>

<p>「質問:徳島小松島港振興整備計画について」</p> <p>・徳島小松島港の港湾管理者は徳島県であり、施設整備等は港湾管理者が徳島県であるため、施設 の環境整備に関することは、主には国及び徳島県であります、 小松島市の地域内に位置していることから、市として市の考えを、しっかり徳島県へ、市からの考え方 を言うべきであるとの議員からの答弁をお聞きし、全く同感だと感じます。市として将来や20年先など を見据えた国や県への市としての意見を強く要望していくことは市の発展を大きく左右すると感じま す。 今回の部長の答弁と回答をお聞きし、県や国まかせにせず市としての意見をしっかり述べていること にとても市民としてはエールを送りたいと感じております。 また、港のもつポテンシャルは小松島市はとても高いと考えますし、貴重な地域資源であると思いま す。 担当部長さんは大変なご苦労だと思いますが、小松島市にとって「港」をどう活用するのか？によつて は経済や産業の発展に大きく左右するとも感じます。 「攻める小松島市」と言うようなイメージの部長さんと議員の答弁をお聞きして 両者の熱い情熱をととても感じて傍聴席に伝わりました。</p>	<p>・本会議を傍聴してのご意見ありがとうございます。 執行機関と議会は独立・対等の関係に立ち、相互に 緊張関係を保ちながら協力して、小松島市の運営に あたる責任があります。ただ、港を活性化させたいと の思いは当局、議会とも共通しておりますことから、 いただいたご意見を励みに、今後取り組んで参りた いと考えております。</p>
<p>●議員活動の可視化</p> <p>・昨今の社会情勢のなかで、ブログやインターネット、個人ホームページ、SNSなどによる情報発信を 行ったり、コミュニケーションをとる手段としてICTを活用した方法が日常化されつつあります。 小松島市議会議員の皆様におかれましても、それぞれ個人単位で情報発信や活動報告 等をなされており、陳情の様子、地域の農作業の手伝い風景、清掃への参加、会合へ の出席など議員の皆様が日々どのような活動をされているのかとてもよく伝わり、活 動だけでなく、様々な場面で苦労されていることや、その時の想いまで知ることがで きるのは市民としてありがたく感じます。 わかりやすくとても良有効な手段であるとともに、なかにはICT及び定期的な紙面による活動報告な どネット操作ができない高齢者等にも配慮されているかと思います。引き続き、日々の活動の情報発 信を楽しみにしております。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。これらの内容を議員 へ伝えます。</p>
<p>●議会記録動画について</p> <p>・ホームページに掲載される時期がランダムであり、時期によっては少し掲載が遅い気がいたします。 編集確認作業等に多大な時間や労力を要するとは思いますが、 掲載期日を指定したり、毎回決められた日に掲載されるといつから動画配信が行われるのかが把 握できるほうが良いのかなと思いました。</p>	<p>・動画の配信に関しては、処理の遅れもありご迷惑を お掛けしたことをお詫びいたします。 今後は、本会議、委員会等の後、一定期間(20日程 度)内には配信できるよう努力してまいりたいと考 えております。</p>
<p>●その他</p> <p>答弁を行う各部局の担当者の声の大きさが小さいなと感じます。 少し聞き取りにくいのではと感じました。</p>	<p>・ご意見ありがとうございます。これらの内容を行政 側へ伝えます。</p>

●登壇・発言回数について

知識不足で大変申し訳けないのですが、年間4回の議会が開催されているなかで、質問の回数制限等がありますでしょうか？ 29年度は1-1のとおり結果がなっており(計算間違いの場合は誠に申し訳ありません)ました。都合や体調の具合等と諸事情もあるかと思いますが、3回～4回の質問者がもう少し多くてもいいような感じがしました。

示し1-1 平成29年度結果(議長を除く)

- ・4回……1名
- ・3回……7名
- ・2回……4名
- ・1回……2名
- ・0回……1名

・ご意見ありがとうございます。
定例会議開催毎において、質問回数は議員の自由です。なお、正・副議長は、申し合わせにより質疑・一般質問を行わないこととしております。
これらの内容を議員へ伝えます。今後とも議会運営等に関し率直なご意見をいただければ幸いです。